

一般社団法人日本人間工学会第9回理事会 議事録

1. 開催日時：平成23年2月22日（火） 17:30～20:15
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館2F 122会議室
3. 出席者：
 - ・理事会構成員(27名・定足数14名以上)
 - (理事)：斉藤進(理事長・文科省科研費)、阿久津正大(副理事長・表彰)、青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)、石田敏郎、大久保堯夫、大須賀美恵子(学術会議)、岡田明(財務)、垣本由紀子、岸田孝弥、小谷賢太郎、斎藤真、三林洋介(財務)、外山みどり(総務)、土屋和夫、堀江良典(国際)、吉武良治(広報・テレワークアドバイザー) [16名]
 - (理事兼支部長)：横山真太郎(北海道)、北村正晴(東北)、八田一利(総務・関東) [3名]
 - [計19名]
 - (欠席者)：小松原明哲(編集・子どもの人間工学委員長)、酒井一博(横幹連・企業の人間工学教育のあり方検討委員長)、富田豊、福田康明、横森求(東海)、萩原啓(関西)、村田厚生(中国・四国)、長谷川徹也(九州・沖縄)
 - ・監事：大内啓子
 - ・オブザーバー：横井孝志(ISO/TC159国内対策、研究倫理審査検討)、榎原毅(エズ対応委員長)、河合隆史(第52回大会長)、三澤哲夫(編集副委員長)
 - ・事務局：栗田紀子、青木彩

4. 議事概要

定足数14名を超える19名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、岡田明財務理事が指名され承認された。

【審議事項】

(1) 第1号議案 財務資料等の公開について

定款56条(情報公開)に基づき、財務資料を公開することが総務より提案され承認された。

(2) 第2号議案 第52回大会の学会企画シンポジウム案について

理事長による本シンポジウムの位置づけと募集の経緯の説明の後、青木理事から「世界をリードする人間工学アクセシビリティ規格」の企画案について説明があり、この案を第52回大会で学会企画のシンポジウムとして実施することが承認された。講演者等の内容と時間及び時間帯を2月末までに総務に連絡する。

(3) 第3号議案 代議員及び役員選挙規程について

八田第2期選挙管理委員長より、第12条(理事長及び副理事長の選挙と定数)について、支部長兼理事当選者である者の投票数を1とすることの明文化が提案され承認された。

(4) 第4号議案 投稿規程の改正の提案について

三澤副編集委員長より、第3条(著作権)、第8条(掲載料)について改定が提案された。著作権については、電子媒体等へ論文等の一部または全部を転載する場合は付け加えられ、掲載料については、別表として示すこと及びカラー印刷の場合は別途料金を請求することが提案の通り承認された。編集

委員会は投稿規程を改定し、学会 HP 及び 2011 年 4 月発行予定の 47 巻 2 号にて公開する。

(5) 第 5 号議案 表彰委員の追加について

阿久津表彰委員長より新規委員として鴻巣努氏（千葉工業大学）を追加する旨、報告があった。本議題は当初審議事項として提出されたが、定款により委員は委員長が指名すると定められており、報告事項として扱う。

(6) 第 6 号議案 論文賞及び授与規程の改訂等について

阿久津表彰委員長より研究奨励賞選考及び授与規程改訂案、大島賞選考及び授与規程改訂案が提案され、原案の通り承認された。新規に提案された論文賞選考及び授与規程は、第 1 条（本賞の目的）の一部削除、第 2 条（本賞の対象）及び第 6 条に総説を加えるよう修正した上で承認された。

(7) 第 7 号議案 第 3 回功労賞の選考について

阿久津表彰委員長より功労賞候補として加藤象二郎氏が推薦され、承認された。本人の了承をとった後、平成 23 年定時社員総会で表彰する。

(8) 第 8 号議案 日韓シンポジウム功労者の表彰について

阿久津表彰委員長より日韓シンポジウムに尽力した韓国側の功労者の表彰を行うことが提案され、承認された。今後、表彰委員会、国際協力委員会、第 52 回大会事務局とで準備を進める。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会 第 8 回理事会議事録について

メール審議により第 8 回理事会議事録が確定したことを報告した。

(1-2) 会勢報告(1 月末)

2011 年 1 月末現在、会員数 1915 名（4 月に比べ 55 名増）、賛助会員 36 社 37 口（同、1 社 1 口減）

(1-3) 公開講座 2010

「事故防止のヒューマンファクターズ・アプローチ -第一線からの防止対策の紹介-」について

2010 年 12 月 5 日に関西支部大会（大阪工業大学）で開催された学会主催の公開講座 2010 について、大須賀大会長より 50 名の参加があり盛況であった旨報告があった。なお「公開講座」は今後、年度の表記とする。過去の開催分については変更しない。

(1-4) IEA フェローの件

IEA の HP に掲載されていなかった本学会関係の IEA フェローを 2010 年末に登録した。次回の表彰については、表彰委員会、国際協力委員会、理事長の合議で推薦する。申請締め切りは 2011 年 5 月 1 日なので推薦する場合は IEA 事務局長宛連絡する。

(1-5) 学会誌及び講演集等の複写許諾の件

外部より学会の著作物について複写許諾の依頼があったことを契機に、学会の著作物の著作権及び複製権の扱いについて総務が整理し、次回理事会に規程を提案する予定。

(2) 財務報告

平成 23 年 1 月度の収支について、順調に推移している旨報告があった。

(3) 日本オフィス学会誌への JES 紹介記事について

吉武広報委員長より経緯及び内容について説明があった。

(4) 第 52 回大会準備状況報告

河合大会長より、第 52 回大会の大会コンセプト「みんなの人間工学、最先端の人間工学」、演題受付状況、会場使用案、プログラム枠組み案について説明があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 編集委員会

編集委員会報告：編集委員会の開催、学会誌の発行状況、査読の進捗状況等が報告された。

(5-2) 表彰委員会

・表彰委員会報告：2010 年 12 月 20 日に開催した第 4 回表彰委員会について報告があった。

・国際表彰に関するまとめ

小谷委員より IEA 国際表彰委員会が実施している国際表彰について、学会員に周知し学会として積極的に推薦していく必要性が述べられた。

(5-3) 日本学術会議担当

「安全工学」誌特集記事に「日本人間工学会における安全人間工学への取組み」が掲載されたことが報告され、また、安全工学シンポジウム 2011 について開催の概略の説明があった。

(5-4) 横断型基幹科学技術研究団体連合担当

「横幹」誌第 5 巻第 1 号に「人間工学分野における横断型の取組み」と題する特集記事が掲載される予定であること、また、定時総会が 4 月 25 日に開催されることが報告された。

(5-5) 人間工学専門家認定機構

2010 年度専門資格認定試験（A 方式）7 名、準専門家試験（書類審査）5 名の合格が報告された。そのほか、2010 年度 CPE セミナーを 11 月 19 日に開催したこと、2011 年度総会・講演会を 2011 年 4 月 22 日に開催すること、会報 vol. 25, 26 を発行したことが報告された。

(5-6) 国際人間工学連合 PSE 担当

榎原氏より台湾人間工学会への出張について報告があった。

(5-7) 研究倫理審査検討委員会

本学会で研究倫理審査を実施するかについて、現在、種々の学会の状況を調査中である旨報告があった。

(5-8) ISO/TC159 国内対策委員会

2010 年 12 月 10 日に第 169 回 JENC 委員会を開催した旨、報告があった。ISO/IEC GUIDE 71（規格作成における高齢者・障害者のニーズへの配慮ガイドライン）の改訂について、ISO/TC159 が主導したいと希望している。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

平成 23 年度の支部大会及び総会の時期と場所案が提示された。

(6-2) 東北支部

2011 年 2 月 5 日に東北大学にて研究会を開催した旨報告があった。参加者は 31 名。

(6-3) 関東支部

2010 年 12 月 4, 5 日に東海大学にて第 40 回大会を開催した旨報告があった。2011 年 3 月 18 日に産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センターの見学会を実施する予定。第 41 回大会は大倉典子氏を大会長に 2011 年 12 月 10, 11 日もしくは 17, 18 日、芝浦工業大学豊洲キャンパスにて開催の予定（後日、17, 18 日に決定）

(6-4) 東海支部

支部総会を 2011 年 5 月 14 日名城大学名駅サテライトにて開催予定。支部研究大会は、斎藤真氏を大会長とし、10 月 29 日三重県立看護大学にて開催予定。

(6-5) 関西支部

関西支部大会を大須賀大会長のもと、大阪工業大学にて 2010 年 12 月 4, 5 日に開催した。2011 年 1 月 19 日に企画幹事会を実施した。なお、3 月 26 日に関西支部総会及び春季講演会を京都にて実施する予定。

(6-6) 中国・四国支部

(6-7) 九州・沖縄支部

2010 年 12 月 11 日に九州支部第 31 回大会を総合せき損センターにて開催した。なお、第 32 回は中国・四国支部との共同開催で 2011 年 11 月に下関で開催すべく検討、準備中。

(7) 協賛等の依頼

12 件の依頼について協賛する旨理事長より報告があった。

(8) その他

- ・横山北海道支部長より ICHES2011 (10 月 3~6 日、北海道大学) の開催の告知があった。
- ・(総務) 総会資料作成につき委員会・支部・部会宛に、平成 22 年度事業報告及び平成 23 年度事業計画の作成を依頼する文書を 3 月中旬に送付する予定なので、よろしく願います。締切は 4 月上旬の予定。
- ・青木理事より『『人間中心デザインガイドライン』合同ワークショップ』(産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター主催) が 3 月 22 日に産業技術総合研究所 臨海副都心センターにて開催される旨、案内があった。

5. 閉会

以上の議事を終え、20 時 15 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 23 年 2 月 22 日

議 長 齊 藤 進 ⑩

議事録署名人 岡 田 明 ⑩

議事録署名人 大 内 啓 子 ⑩